

「核戦争」加担の戦争法案許すなを声をほこそ！

全国商工団体連合会

法案の危険性が明白に！「廃案しかない」

6日、広島で開かれた被爆70年の平和記念式典で、安倍晋三首相は歴代総理として初めて「非核三原則」（核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず）に言及しませんでした。さらに、昨年に引き続き「日本国憲法の遵守」も述べず、戦争できる国づくりへの野望をあからさまにしています。参議院では本格的な審議が始まり、中谷防衛大臣が、答弁の中で「ミサイル」輸送も可能と公言し、自衛隊が法文上「核兵器」を輸送することも否定せず、国民の怒りを呼んでいます。全商連は8月15日から9月15日まで「戦争法阻止！ 全国総行動」を提起しました。その中間点にあたる「8・30国会10万人包囲、全国100万人行動」を成功させ、廃案に向けた運動を大きく広げましょう。

全商連「防衛大臣の罷免求める」談話

中谷元防衛大臣は参院安保法制特別委員会(5日)で、戦争法案に基づく米軍などへの兵站支援として、核兵器の輸送も「法文上は排除していない」と重大な答弁をしました。これに対し、全商連は6日、「戦争法案の廃案とともに中谷防衛大臣の罷免求めます」とする岡崎事務局長の談話を発出しました。

核戦争に加担できる戦争法案の中身がまた一つ明らかになったことから「戦争法案はただちに廃案にするとともに、中谷大臣の即時罷免」を強く要求しています。

議員会館前に過去最高の3000人 鎌田副会長 渾身の訴え

6日夜、衆院第2議員会館前で開かれた総がかり行動実行委員会主催の集会には、過去最高の3000人が参加。全商連をはじめ、首都圏の民商からの参加者も「戦争法案、今すぐ廃案」のコールを響かせました。憲法共同センターを代表してあいさつに立った鎌田保・全商連副会長は、満州開拓団として中国に国から送り込まれ、飢え、寒さ、病気で多くの人が亡くなるなどまさに「地獄」を見た経験を語りました。その上で、「参院での論議が進んでいますが、政府与党の答弁には一分の理もない。なぜか。戦争の悲惨さに立脚しない机上の空論だからです。武力で平和を作り出すことなどできません。戦争の惨禍の上につくられた憲法9条を守り育ててこそ、世界の人と手をつなぎ、平和を手にすることができます」と訴え、情勢が激動するなかで、「戦争法案を廃案にできる可能性を手に入れつつあります。最後まで一緒に頑張りましょう」と訴えました。

武藤議員「議員不適格」と抗議文送付

【滋賀県連】

戦争法案に反対する学生青年緊急行動「SEALDs」（シールズ）の主張を「自分中心、極端な利己的考え」と非難した武藤貴也衆院議員＝滋賀４区＝に対する批判が広がっています。滋賀県商工団体連合会は４日、「自らが議員に選ばれる根拠となっている憲法を認めず、その憲法を破壊し戦前思想に戻したいという人物に議員の資格はない」（要旨）との抗議文を武藤議員に送りました。

* 宣伝用スポット(雛形)ができました

署名宣伝用のスポット(雛形)を一緒にお送りします。アレンジしてご活用ください。猛暑の中ですが、体調管理には十分ご注意ください。

* 学習用DVDをご活用ください。

学習用DVD「戦争法案を廃案に！」(14分)を活用してください。無料で送ります(先着順)。

「戦争法阻止！ 全国総行動」(8/15～9/15)

～ 8・30 行動中心に 「5つの行動提起」に沿って総決起を！

全商連は、8月15日から9月15日までの1カ月間を「戦争法阻止！ 全国総行動」期間と位置付け、あらためて全民商に総決起を呼びかけました。

総行動期間中は、「8・30 国会 10 万人包囲、全国 100 万人行動」を中心に、闘争本部の「5つの行動提起」に沿った活動をすべての民商が推進しましょう。

全商連闘争本部【5つの行動提起】

- ①戦争法反対署名の全商連国会提出日を8月27日(木)、9月10日(木)とします。それに向けて署名活動を強化しよう
- ②「語り継ぐ戦争」DVD、「戦後70年・全商連の見解」を学び、支部・班から行動しよう
- ③業者団体・商店街への申し入れを重視し、学者、青年、他団体など、広範な各層との共同を広げるとともに、自治体での反対意見書決議、地元議員への働きかけを強めよう
- ④宣伝カーの切れ目のない運行を含め、地域での宣伝を強化しよう
- ⑤一人ひとりのつながりを生かし、自発的、創意的な取り組みで戦争反対をアピールしよう